

若鮎おどる季節、茶処白川からお茶便り



白川の風

ますぶち園情報誌
2015年初夏号 vol.53



心配された4月～5月の冷え込みはほとんどなく、茶畑の防霜ファンが回ったのも1日だけ。この気候のおかげで新芽の生育もよく、例年よりも早く一番茶の収穫をすることができました。

品質についても上々に仕上がっており、ご予約いただきました皆さまには5月末までにお届けすることができました。まだ新茶をお試しいただいていない皆さまにも、ぜひともご賞味いただきますようご案内申し上げます。

おかげさまで、

霜の影響もなく順調に育ちました。

「香る新茶」に心を込めて...



標高650mの山頂からお茶刈りスタート!

5月初めには白川町内の早場産地から新茶の便りが聞かれるようになり、鱒淵茶園でも新芽が順調に生育してくれたため去年より1週間早く5月17日、刈り取りの初日を迎えました。その後も好天に恵まれ5月26日、無事一番茶の収穫を終えることができました。収量は昨年

に比べ2割ほど多く、品質も上々となり、鱒淵茶園スタッフ一同もホッとして息つくことができました。

6月に入り茶畑では二番茶の収穫に向けての作業と、来年の一番茶に向けて茶樹の更新作業も行われています。

更新作業には2つの目的があり、年々大きく成長する茶樹の高さを低くして作業性を良くするためと、細くなった枝を刈り落とし母枝の若返りを行うことで来年の一番茶の質を向上させるために行われます。茶畑を何区画かに分けて定期的にローテーションすることで、新芽(揉みあがる荒茶)の「質」と「収量」が保たれているのです。



更新が終わった茶畑はすっかり丸坊主!



三番茶に向けての刈りならし作業

イベント報告 わらべ村アースマーケット

わらべ村の詳細は・・・
<http://www.warabemura.net/>

出展
しました!

5月24日(日)美濃加茂市加茂野町の「わらべ村」で開催された、わらべ村アースマーケットで販売を行いました。わらべ村は有機栽培や無添加の自然食品・雑貨などを扱うお店で、今回はご縁がありはじめて出展させていただきました。

当日は雨の天気予報だったにもかかわらず晴天に恵まれ、多くの出展者や来場者で大賑わいでした。偶然隣のブースには、ますぶち園の近くで穀物を生産しているらしい知り合いの農家さんも出展されており、こんなこともあるんだね!と驚くハプニングもありました。



ますぶち園ブース

当店では篤農家・成瀬さんの新茶の試飲コーナーを設け、お客様と対話しながら販売を行いました。その中で、いつも生協で買っているよ!とか、初めて飲んだけどおいしいね!といううれしいお声もかけていただきました。また、渋くないお茶はありませんか?というご相談も寄せられたりと、お客様と直接会話できる対面販売の醍醐味を私たちも味わうことができました。

今回出展し、自然志向の食品や雑貨に関心のある方が多いことに驚くとともに、だれもが「安心」してのめるお茶づくりの大切さを再認識しました。今後もイベントに積極的に参加し、幅広いお客様とコミュニケーションをとることで当店や商品のファンを増やすことができればと感じた1日でした。



賑わうアースマーケット会場